

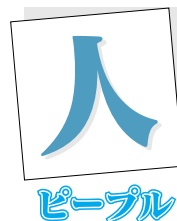
交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

将来はプロ野球の選手に



少年野球大会で最高殊勲選手
阿久沢 樹さん(12) 江木町



第三十回群馬県若獅子旗争奪少年野球大会で、優勝チーム・インディアンズ芳賀のエースとして大活躍 最高殊勲選手賞に輝いた。

「チームみんなのおかげです。大会では五試合すべてに先発し

ましたが、準決勝だけ完投できませんでした。五回に四点取られて交代。このときはもう疲れまして、抑えられなくなっちゃったんです。でも、全員が力を合わせ勝てました」

打撃では、三番か四番を任せられ、チームの要として優勝の原動力になった。現在、桂菅東小六年生。チームの練習場所は小坂子町で遠いが、監督を慕って三年生のときに入った。

「夏休み中は毎週四日、三時問くらい練習します。そして土日は試合と練習です。監督は教え方がうまいから好き。褒めてくれるし、悪いときはきちんと

しかってくれます」

五歳のころから父親とキャッチボールをするようになり、その後、大好きな野球に熱中している。

「夜は家族でナイター中継を見ます。好きな選手は巨人の清原さん。いつも気合いっぱいいいな。ほくも高校野球で甲子園に出て、プロ野球の選手になりたいんです。だから、もっと練習を頑張らなくちゃ」

夏の思い出

赤城山キャンプ

光が丘町・齋藤憂子



七月二十九日から三泊四日で赤城山キャンプが行われました。わたしは四年生から毎年参加しています。今回はあいにくの台風のため朝から雨が降っていてテントが張れないので、施設の中に泊まりました。

一日目の夕食はみんなでカレーを作りました。ニンジンがちょっと生だったけど、とてもおいしかったです。二日目は赤城山の自然観察をして、夜はドラム缶風呂に入りました。残りの日はカッターをこいだり、絵手紙を家族に書いたり、自然の中で思いっきり遊んだり、とても良い思い出になりました。天気には恵まれませんでした。ポランテアの大学生たちにたくさん話をもらい、今まで一番楽しいキャンプでした。来年は中学生になるので、このキャンプには参加できません。でも大学生になったら今度はポランテアで参加したいと思っています。

まちのニュース



亀里町矢島

百万遍で無病息災願う



八月十六日、亀里町矢島公民館で百万遍が行われました。これは大きな数珠をみんなで円になって回し、無病息災などを願う行事。太鼓やかねの音に合わせて、「なんまいだー、なんまいだー」と唱えながら数珠を隣の人に渡します。おばあちゃんのひざの上で珍しそうに手にする子どもや、足腰を数珠でさすって痛みが良くなるように祈る人も。同町の主代忠正自治会長は、「百万遍を続けている地区も最近では少なくなりました。このような伝統行事があることを若い人たちに知ってもらい、長く後世に伝えていきたいです」と話していました。